

日语

国际水平测试

二级模拟试卷

雷秀坤 刘桂云 主编

大连理工大学出版社

© 雷秀坤,刘桂云 2003

图书在版编目(CIP)数据

日语国际水平测试二级模拟试卷 / 雷秀坤,刘桂云主编. — 大连:大连理工大学出版社, 2003.6(2003.9 重印)

ISBN 7-5611-2313-2

I. 日… II. ①雷… ②刘… III. 日语—水平考试—试题 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 056716 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-4708842 传真:0411-4701466 邮购:0411-4707961

E-mail: dulp@mail.dlptt.ln.cn URL: http://www.dulp.cn

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm	印张:27	字数:618千字
印数:6 001 ~ 14 000		
2003年6月第1版	2003年9月第2次印刷	

责任编辑:王佳玉	于福岳	责任校对:天田
封面设计:王福刚		

定 价:35.00 元

前 言

近年来,随着日本在国际上的影响进一步扩大以及我国与日本日益广泛的经济技术交流,掌握好日语已具有非常现实的意义。特别是在跨入新世纪的元年,我国迎来了加入世贸组织和成为 2008 年奥运会举办国这两大盛事。面临经济、教育等领域与世界接轨这一新形势,日语学习再次出现热潮。

日语国际水平测试是日本国际交流基金和日本国际教育协会对母语非日语的不同国籍、不同肤色的日语学习者与爱好者进行的水平测试。自 1984 年以来,每年 12 月在世界各地举办一次,参加人数众多。这一测试不仅能检验学生的学习程度,而且其中高级证书——1、2 级合格证书,还在求职、升学、留学等场合发挥重要的作用。因此,这是一大幸事,已在日语学习者和在校大学生中达成共识。

为了满足学习日语和备考人士的需要,我们精心选编了供参加 1、2 级测试练习用的模拟题。本着循序渐进的原则,2 级题从试题本身到参考答案都从读者的需求出发,在试题的深浅、回答问题的思路方面做了详细的安排。1 级题的答案较为简练,目的是检验读者的自身能力,激发其继续学习的热情。

希望本书能对参加国际水平测试的人士有所帮助,在短时间内使日语水平得到快速提高。

由于水平有限,错误难免,敬请读者批评指正。

编 者

2003 年 4 月

目 录

模拟 1 试卷	1	解答解说	151
模拟 2 试卷	15	解答解说	181
模拟 3 试卷	29	解答解说	209
模拟 4 试卷	43	解答解说	233
模拟 5 试卷	56	解答解说	257
模拟 6 试卷	69	解答解说	282
模拟 7 试卷	82	解答解说	306
模拟 8 试卷	95	解答解说	331
2000 年日语国际水平测试 2 级真题	108	解答解说	357
2001 年日语国际水平测试 2 级真题	130	解答解说	389
参考文献	424		

模拟 1 试卷

1 文字・語彙

問題Ⅰ 次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 そのチャンスの可能性に向かって想像力をかきたてるのか、それとも「わからない」と、戦意を放棄してしまうのか。

- 放棄 1. ほおき 2. ほうき 3. ほおけ 4. ほうけ

問2 ゼミとは何かということを、無言のうちに僕にわからせてくれたのだからすごい。

- 無言 1. むげん 2. ぶごん 3. ぶげん 4. むごん

問3 友達の話によると、鉢植えの花は「根がついている」ので、「寝つく」、つまり「病気が治らず、ずっと寝たままになる」ということを連想させてしまうそうだ。

- (1) 鉢植え 1. はつうえ 2. はちうえ 3. はつさえ 4. ばつうえ
(2) 連想 1. わんそく 2. れんそう 3. れんこう 4. れんかく

問4 だから好奇心を失うことは、すなわち文化を衰弱させることであり、ひいては生命力を枯渇させることになる。

- (1) 衰弱 1. すうしゆく 2. ずいじゃく 3. そうにやく 4. すいにやく
(2) 枯渇 1. かこく 2. こさつ 3. かれつ 4. こかつ

問5 その時の旅で同行してくれた数人の優秀な中国側の通訳のひとりに呉勇さんがいた。

- (1) 同行 1. どうかう 2. どうなう 3. どうぎょう 4. どうこう
(2) 数人 1. かずひと 2. かずにん 3. すうびと 4. すうにん
(3) 優秀 1. ゆうひで 2. ゆうしゅう 3. すぐしゅう 4. すぐひで
(4) 通訳 1. つうゆく 2. つうやく 3. つうしゃく 4. つうよく

問6 担当の係員は、書類の束を腕に抱えて部屋に入ってきた。

- (1) (2) (3) (4) (5)

- | | | | | |
|--------|--------|---------|---------|--------|
| (1)担当 | 1.だんとう | 2.だんどう | 3.たんとう | 4.たんどう |
| (2)係員 | 1.やくいん | 2.しょくいん | 3.かかりいん | 4.けいいん |
| (3)束 | 1.たば | 2.そく | 3.つつみ | 4.ふくろ |
| (4)腕 | 1.うで | 2.むね | 3.わき | 4.ひじ |
| (5)抱えて | 1.おさえて | 2.とらえて | 3.かまえて | 4.かかえて |

問7 彼は医師から警告⁽¹⁾を受けているともかかわらず、飲酒⁽²⁾の習慣⁽³⁾を改めよう⁽⁴⁾にしない。病気も悪くなる一方⁽⁵⁾である。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|----------|
| (1)警告 | 1.けいこう | 2.けいこく | 3.きょうこう | 4.きょうこく |
| (2)飲酒 | 1.のみさけ | 2.のみしゅ | 3.いんさけ | 4.いんしゅ |
| (3)習慣 | 1.しゅうがん | 2.しゅうかん | 3.しょうがん | 4.しょうかん |
| (4)改めよう | 1.やめよう | 2.せめよう | 3.あらためよう | 4.あきらめよう |
| (5)一方 | 1.ひとかた | 2.いちかた | 3.ひとほう | 4.いっぽう |

問題Ⅱ 次の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 それが、やがて珊瑚色の帯になってひろがる⁽¹⁾。帯の長さは二百キロか、三百キロか、けんとう⁽²⁾もつかない。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| (1)ひろがる | 1. 寛がる | 2. 上がる | 3. 下がる | 4. 広がる |
| (2)けんとう | 1. 適当 | 2. 適合 | 3. 見当 | 4. 見合 |

問2 きょうかしょ⁽¹⁾によると、日本はいままつゆ⁽²⁾の季節のようですが、つゆはいつまでつづくのでしょうか。

- | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| (1)きょうかしょ | 1. 教科書 | 2. 教習書 | 3. 教科書 | 4. 教学書 |
| (2)つゆ | 1. 露 | 2. 霜 | 3. 雹 | 4. 梅雨 |

問3 今の世の中がいしょく⁽¹⁾足っているかどうか分からないが、きょうよう⁽²⁾の本を読む人がふえたのは豊かになったしょうこ⁽³⁾である。けっこう⁽⁴⁾なことだ。

- | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| (1)いしょく | 1. 医職 | 2. 医食 | 3. 移植 | 4. 衣食 |
| (2)きょうよう | 1. 使用 | 2. 教養 | 3. 營養 | 4. 応用 |
| (3)しょうこ | 1. 証拠 | 2. 証据 | 3. 根拠 | 4. 根据 |
| (4)けっこう | 1. 結行 | 2. 結構 | 3. 結合 | 4. 結断 |

問4 道は完全にほそうしてあるし、きけんな動物や虫は駆除してある。

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| (1)ほそう | 1. 改装 | 2. 包装 | 3. 舗装 | 4. 補装 |
| (2)きけん | 1. 棄権 | 2. 危険 | 3. 起源 | 4. 機嫌 |

問5 あるアンケートちょうさによると、大学生のアルバイトは、サービス、
はんばいなど第3次さんぎょうの仕事が多い。

- | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| (1)ちょうさ | 1. 調査 | 2. 検査 | 3. 審査 | 4. 測査 |
| (2)はんばい | 1. 販売 | 2. 販売 | 3. 半倍 | 4. 販倍 |
| (3)さんぎょう | 1. 三行 | 2. 参行 | 3. 産業 | 4. 参業 |

問6 女性がきぶんのおちこんだとき、どのようなこうどうをするかという
きょうみ深い調査を、かつて厚生省がまとめたことがあります。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| (1)きぶん | 1. 气氛 | 2. 气氛 | 3. 気分 | 4. 気持 |
| (2)おちこんだ | 1. 沈ち込んだ | 2. 陥ち込んだ | 3. 入ち込んだ | 4. 落ち込んだ |
| (3)こうどう | 1. 構造 | 2. 行動 | 3. 行為 | 4. 行事 |
| (4)きょうみ | 1. 興味 | 2. 樂趣 | 3. 楽味 | 4. 趣味 |

問7 戦後間もなくの頃として、私はまずアメリカの豊富な物資に目をうばわれ、ま
た明るく自由にふるまうアメリカ人に深くかんしんしたものである。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|--------|--------|
| (1)うばわれ | 1. 引われ | 2. 誘われ | 3. 奪われ | 4. 買われ |
| (2)ふるまう | 1. 降る間う | 2. 振る舞う | 3. 振舞う | 4. 降間う |
| (3)かんしん | 1. 関心 | 2. 感心 | 3. 肝心 | 4. 嶄新 |

問題Ⅲ 次の文の _____ 入れるのに最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)あなたが何をしたか _____ に話しなさい。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 正直 | 2. 素直 | 3. 直接 | 4. 率直 |
|-------|-------|-------|-------|

(2) _____ をしばって考えたが、うまくいきそうもない。

- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 1. 考え | 2. 頭 | 3. 知恵 | 4. 神精 |
|-------|------|-------|-------|

(3)その男の子は友達の新しい自転車 _____。

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|
| 1. ほめていた | 2. うらやんでいた | 3. にくんでいた | 4. おがんでいた |
|----------|------------|-----------|-----------|

(4)今日も _____ のように7時の電車で会社へ来ました。

- | | | | |
|------|-------|--------|--------|
| 1. 常 | 2. 時時 | 3. いつも | 4. とおり |
|------|-------|--------|--------|

(5)水道のホースに水 _____ がついてぬるぬるしている。

1. さび 2. くず 3. あか 4. きれ
- (6)この_____の事務所は大手町にあります。
1. 教育 2. 協力 3. 研究 4. 討論
- (7)自分のふところが_____ようなことはしない。
1. 痛む 2. 傷む 3. 刺す 4. 悲しむ
- (8)この機械の_____はボタンひとつでできる。
1. 搜索 2. 作用 3. 動作 4. 操作
- (9)アルバイトで_____をたてる。
1. 生計 2. 生活 3. 生命 4. 家
- (10)住宅ローンの返済で_____が苦しい。
1. 家庭 2. 家族 3. 家計 4. 大家
- (11)デパートで展示即売会を_____する。
1. 催促 2. 催す 3. 開催 4. 観賞
- (12)日本人はどうも_____旅行が好きらしい。
1. 団体 2. 集団 3. 組合 4. 夜間
- (13)成田空港を_____してロンドンへ向かう飛行機。
1. 経過 2. 経由 3. 通す 4. 通う
- (14)ベテランの店員は、気持ちのいいほど_____よく客をさばく。
1. 手口 2. 手軽 3. 手際 4. 手数
- (15)組合は賃上げと待遇_____を要求した。
1. 改正 2. 改良 3. 改造 4. 改善

問題Ⅳ 次の(1)から(15)は、あることばの意味を説明したものです。それぞれの説明にあうことばを1・2・3・4から一つ選びなさい。

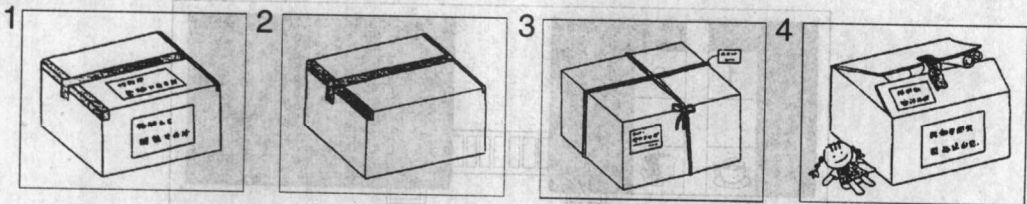
- (1)水に落ちて死にそうになる。
1. 落ち込む 2. おぼれる 3. おぼえる 4. おびる
- (2)いろいろなものをつくるもとになるもの。
1. 原料 2. 資源 3. お金 4. 木
- (3)品物が売れていく様子。
1. 売れ高 2. 売り値 3. 売り上げ 4. 売れ行き
- (4)追いかけてそのもののところまで行きつく。
1. 追い出す 2. 追い込む 3. 追い付く 4. 追い払う
- (5)物の運動やせいしつ・音・電気・ねつ・光などを研究する学問。
1. 生物学 2. 物理学 3. 化学 4. 電子工学
- (6)せわをしてやしなうこと。

1. 扶養 2. 教養 3. 教育 4. 育成
- (7)ふつうのきまりからはずれていること。
1. 外出 2. 外交 3. 案外 4. 例外
- (8)たいそういそがしいこと。
1. 急速 2. 多忙 3. 急ぐ 4. 急がす
- (9)前もっておしはかること。
1. 予定 2. 予測 3. 予報 4. 通知
- (10)その人の、これまでに経験してきた学業・職業など。
1. 身分 2. 体験 3. 履歴 4. 生活
- (11)意見をのべあうこと。
1. 発表 2. 論議 3. 論争 4. 論究
- (12)電気の力で、人間と同じように運動したり、発音したりする自動人形。
1. ポケット 2. ラケット 3. ロボット 4. コンピューター
- (13)誤りの箇所をただし、あらためること。
1. 合計 2. 改正 3. 考査 4. 改良
- (14)商品・事業などをひろく世間一般に知らせ、人人に興味をもたせること。
1. 広告 2. 公告 3. 宣伝 4. 推薦
- (15)ふさがって通らなくなる。
1. もどる 2. つまる 3. よどむ 4. つぼむ

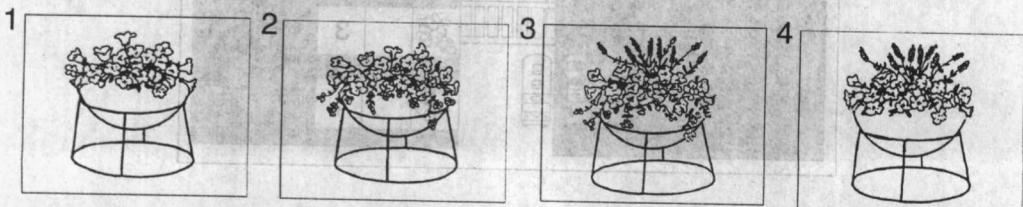
あいうえおアイセリンク
きこけいたスジュンキリス

問題 I

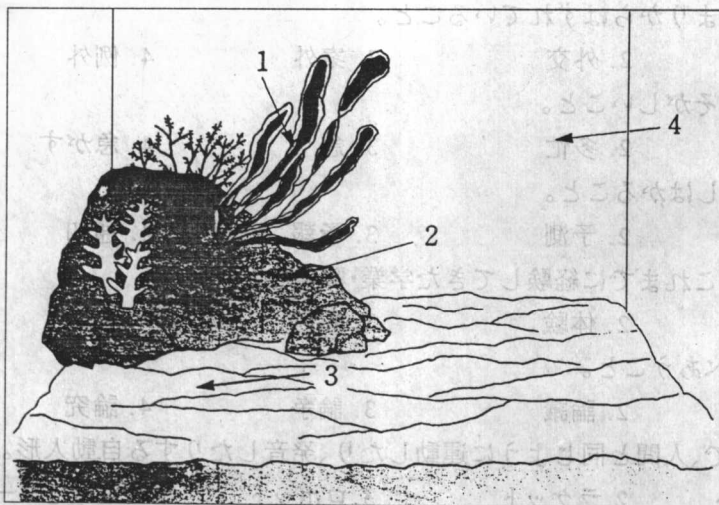
例



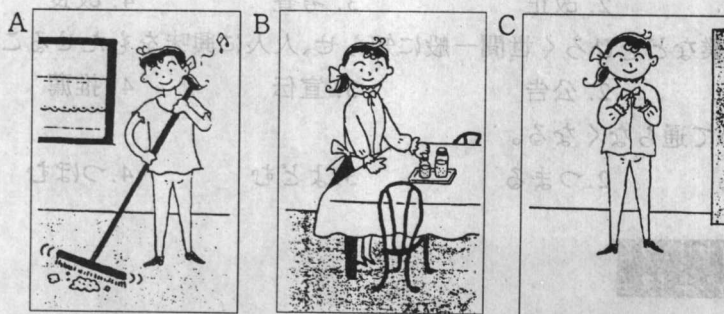
1 番



2 番

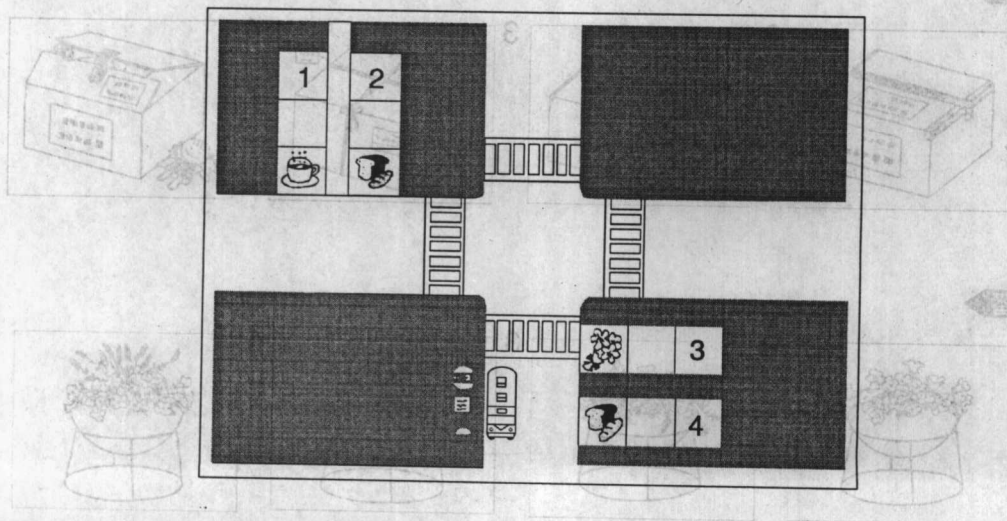


3 番

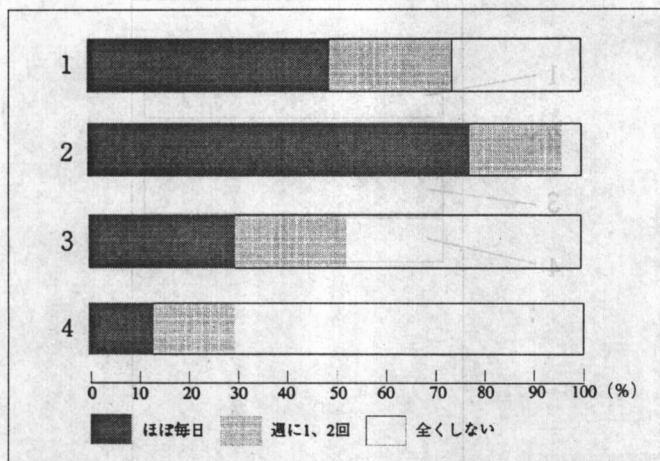


1. A → B → C 2. A → C → B 3. C → A → B 4. C → B → A

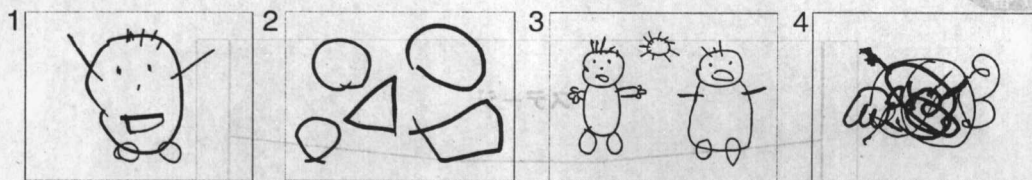
4 番



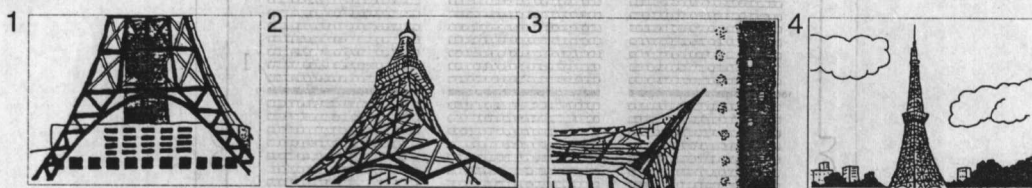
5 番



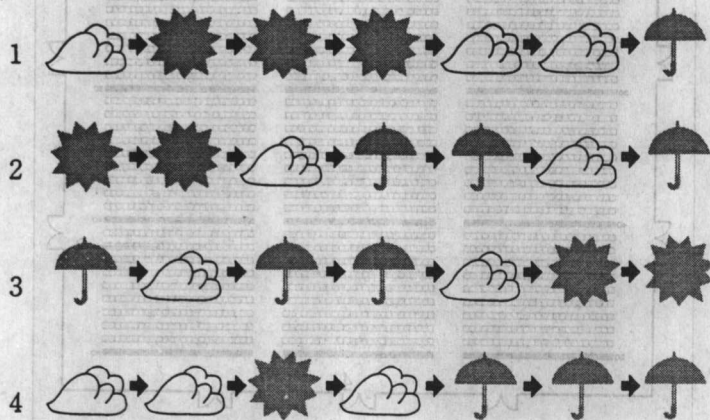
6 番



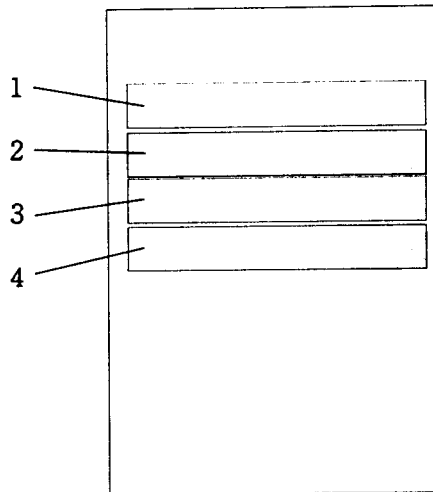
7 番



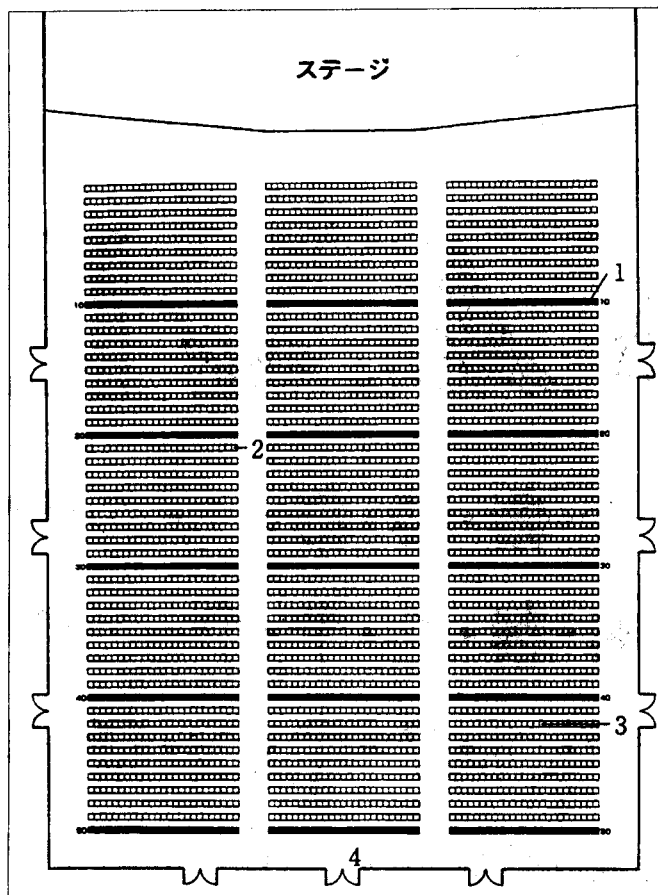
8 番

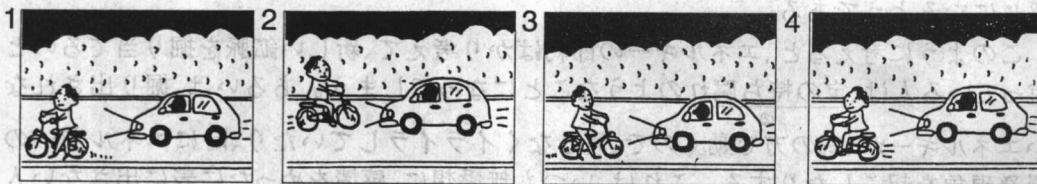


9 番



10 番





問題Ⅱ 絵はありません。

3. 読解・文法

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

人間には、身体的なエネルギーだけではなく、心のエネルギーというものもある、と考えると、ものごとがよく理解できるようである。同じいすに一時間座っているにしても、一人では一と座っているのと、客の前で座っているのとでは疲れ方がまったく違う。身体的には同じことをしていても「心」を使っていると、それだけ心のエネルギーを使用しているので疲れるのだ、と思われる。

このようなことはだれしもある程度知っていることである。そこで、人間はエネルギーの節約に努めることになる。仕事など必要なことに使うのは仕方ないとして、不必要なことに、心のエネルギーを使わないようにする、となってくると、人間が何となく無愛想になってきて、生き方に潤いがなくなってくる。他人に会う度ににこにこしていたり、相手のことに気を使ったりするとエネルギーの浪費になるというわけである。

自分自身のことを考えてみよう。(A)、自分が碁が好きだとして、碁を打っているために使用される心のエネルギーを節約して、もうすこし仕事の方に向けようと考えてみるとしよう。そこで、友人と碁を打つ回数を少なくして、仕事に力を入れようとしても、果してうまくゆくだろうか。あるいは、今まで運動などまったくしなかったのに、ふと友人に誘われてテニスをはじめると、それがなかなかおもしろい。だんだんと熱心にテニスの練習に打ち込むようになる。そんなときに、仕事の方は、以前より能率が悪くなっているだろうか。あんがい、以前と変わらないことが多い。テニスの練習のために、以前よりも朝一時間早く起きているのに、仕事をさぼるところか、仕事に対しても意欲的になっている、というときもあるだろう。

人間の心のエネルギーは、多くの「鉱脈」のなかに埋もれていて、新しい鉱脈を掘り当てると、これまでとは異なるエネルギーが供給されてくるようである。このような新しい鉱脈を掘り当てることなく、「手持ち」のエネルギーだけに頼ろうとするときは、確

かに、それを何かに使用すると、その分だけどこかで節約しなければならない、という感じになるようである。

このように考えると、エネルギーの節約ばかり考えて、新しい鉱脈を掘り当てると怠っている人は、宝の持ち腐れのようなことになってしまう。あるいは、掘り出されないエネルギーが、底の方で動くので、何となくイライラしていたり、時にエネルギーの暴発現象を起こしたりする。これは、いつも無愛想に、感情をめったに表に出さない人が、ちょっとしたことで、カッと怒ったりするような現象としてあらわれたりする。

自分のなかの新しい鉱脈をうまく掘り当ててゆくと、人よりは相当に多く動いていても、それほど疲れるものではない。それに、心のエネルギーはうまく流れると効率のいいものなのである。他人に対しても、心のエネルギーを節約しようとするよりも、(B)上手に流してゆこうとする方が、効率もよいし、そのことを通じて新しい鉱脈の発見に至ることもある。心のエネルギーの出し惜しみは、結果的に損につながることが多いものである。

注：無愛想：用件だけを片づけて、おせじなど全く言わない様子

問1 (A)にあてはまる語を次から一つ選びなさい。

1. たえば 2. それゆえ 3. ところが 4. もしくは

問2 ①「果してうまくゆくだろうか」とあるが、その言い換えとして最も適当なものはどれか。

1. うまくいくようにする 2. うまくはいかないだろう
3. うまくいくだろう 4. きつとうまくいく

問3 ②「宝の持ち腐れ」とあるが、その意味として最も合っているものはどれか。

1. 宝は持ち腐るようにしたほうがいいということ
2. そのものが持っている有用性を十分に活用することができないこと
3. そのものが持っている有用性は全部は使わないほうがいいということ
4. 宝はずっと持っているとう腐ってしまうということ

問4 (B)にあてはまる語を次から一つ選びなさい。

1. とても 2. まさか 3. むしろ 4. よくも

問5 ③「心のエネルギーの出し惜しみは、結果的に損につながることが多いものである」とあるが、これはどんな意味か。

1. 不必要なことに、心のエネルギーを使わないようにする
2. 他人に会う度に、にこにこしていたり、相手のことに気を使ったりするとエネルギーの浪費になる
3. 心のエネルギーをよく使うと効率もよくなるが、それを出し惜しむと宝の

持ち腐れのようなことになってしまう

4. 心のエネルギーを節約すると、掘り出されないエネルギーが底の方で動くので、何となくイライラしていたり、時にエネルギーの暴発現象を起こしたりする

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

1 下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

本屋にいったら、まず関係書のならんでいるところについて、片端^{かたはし}から本を見ていく。本のタイトルを全部読んでいけば、だいたいその分野の大づかみな全体像が浮かびあがってくる。

ア

イ

ウ

エ

それに奥付^{おくづけ}を見れば、定評ある教科書は多くの版を重ねていることからそれとわかる。
_注

A すでにそれを知っていれば問題はないが、知らなくても、書店の店頭で片端から本を見ていけば、そういう本は見当がつく。本を見ていく場合、まえがき、あとがき、目次、奥付だけは必ず見なければならない。

B 次に、その中で入門書的なものを片端から抜きだして、中身を見ていく。

C 入門書には二種類ある。教科書的入門書と教科書以前の一般向け入門書とである。たいていの分野には、教科書的入門書として定評が確立している本があるものだ。(中略)

D まえがき、あとがきで、筆者がどういう心づもりでそれを書いたかわかるし、訳者の場合には、訳者のあとがきで、その本の客観的評価が得られる。たいていの本は、まえがき、あとがきをよく読めば、購入する価値があるかどうかの判定をつけることができる。

(立花隆[ぼくはこんな本を読んできた]文芸春秋による)

注: 奥付: 本の終わりにある著者や発行年月日、定価などを印刷したページ

問い 正しい組み合わせのものはどれか。

- | | | | |
|---------|------|------|------|
| 1. ア: B | イ: C | ウ: A | エ: D |
| 2. ア: B | イ: A | ウ: D | エ: C |
| 3. ア: C | イ: B | ウ: A | エ: D |
| 4. ア: C | イ: A | ウ: D | エ: B |

2 次の文章で、生卵^{なまたまご}とゆで卵の見分け方について述べたものです。

まず誰でも思いつくことは、明かりにすかすして見ることだろう。電灯^{でんとう}の光を生卵^{なまたまご}を通して見ると赤っぽい光が見える。ゆで卵はもちろん光を通さない。

次の方法は卵を横にして机の上で回転させることである。ゆで卵はなかが固^こ体なのでよく回転する。生卵はなかが黄身^{きみ}と白身^{しろみ}の二種類の流体^{りゅうたい}状^{じょう}で、回転しにくい。逆に、回転させておいて指でおさえてすぐはなしてみる方法もある。ゆで卵は固体だから止まってしまう。しかし生卵は内部が流体状だから、殻^{から}をおさえてもまわりつづけようとする。したがって、一度止まったあと、またまわりだす。

(福島肇「パズル・物理のふしぎ入門」講談社による)

注: 1. すかす: ものをとおして、その向こう側を見る

2. 電灯^{でんとう}: 明かり

3. 流体^{りゅうたい}: 液体と気体をまとめていう言葉。(流体^{じゅう}) 状^{じょう} は(液体の)状態という意味

4. 殻^{から}: 卵の外側のかたい部分

問い ここにA、B二つの卵がある。それぞれ、生卵かゆで卵か見分けるために簡単な実験をしてみた。その実験と結果は、

A: ころがしてから指で押さえてまたすぐにはなしてみると、止まったままだった。

B: 明かりにすかしてみると、光は何も見えなかった。

A、Bはそれぞれ生卵かゆで卵か、次の組み合わせの中で正しいものを選びなさい。

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 1. A: 生卵 | B: 生卵 | 2. A: 生卵 | B: ゆで卵 |
| 3. A: ゆで卵 | B: ゆで卵 | 4. A: ゆで卵 | B: 生卵 |

3 昔は暮らしの中に「日々の営^{いとな}み」があつて、それを見たり聞いたりするチャンスが実に多かったと思います。

夏の風鈴^{ふうりん}をお祭りで買い、美しいガラスの音色がするたび、ほんとに涼風を感じた

ものです。蚊^{注3}とり線香^{せんこう}の匂いととも^{注4}に夏の風物詩^{ふうぶつし}でした。でも、夏の終わりを待たず、盛夏が過ぎると母は風鈴^{ふうりん}をおろしました。

「夏は涼やかな音も、秋口に聞くとわびしい音に聞こえますよってね」と。

もちろん、いくら時代が変化しても今の人たちが思い出のひだがあることには変わりありません。ただ、かつてはあった暮らしの光景、生活の営みを、現代人である子どもたちや若い世代は、そう見る機会がない気がするのです。

(小林カツ代「小林カツ代のキッチン手貼」三笠書房による)

注:1. 日々の営^{いとな}み:生活のためにするいろいろなこと

2. 風鈴^{ふうりん}:風が吹くと鳴るもので、夏に窓やベランダにつるして、音を楽しむ

3. 蚊^かとり線香^{せんこう}:火をつけて煙^{けむり}で蚊という虫を殺すためのもの

4. 風物詩^{ふうぶつし}:その季節を表すもの

問い 「かつてはあった暮らしの光景、生活の営み」にたいして、筆者はどのように感じているか。

1. 現代の子供や若い人は見る機会がなくていいと思う
2. 現代の子供や若い人は見る機会がなくなったが、時代が違うのだから気にすることはない
3. 現代の子供や若い人は見る機会がなくなったが、それはとても残念なことだと思う
4. 現代の子供や若い人は見る機会がなくなったが、なぜなくなったかをみんなで考えたほうがいい

問題Ⅱ 次の文の _____ にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

- (1) 雨が降った _____ みえて、道がぬれています。
1. に 2. の 3. と 4. で
- (2) 無理をしないで体力 _____ 応じた運動をしてください。
1. を 2. に 3. で 4. が
- (3) 彼の話 _____ どこか納得できないものがある。
1. には 2. では 3. まで 4. とは
- (4) 親孝行を奨励する _____ では済まない社会問題である。
1. のに 2. ほど 3. だけ 4. まで
- (5) ここ _____ 壊れてしまった車は直しようがない。
1. には 2. では 3. まで 4. ほど
- (6) 彼は旅行会社に勤めている _____ あまり英語が得意でない。